



地下歩行空間から家具群を望む



編み方は家具毎に変えている。座る部分にはリング状のフェイクレザーのマットを敷くことで座り心地を確保



街と商業施設を繋げる地下のオアシス

JR 札幌駅から徒歩5分にある北3条西3丁目にある miredo という商業施設の地下歩道空間接続部に設置した家具群。地下通路という硬い表情の仕上に囲われた空間の中に、来客者を柔らかく優しく迎え入れる施設の顔となるよう丸みを帯びた形状で構成している。家具の曲線はアルミパイプの骨組みにポリエチレンウィービングを使用しており、耐久性と編みの表情の面白さが出るようにしている。また植栽はシーズン毎に交換することで地下に季節感がでるよう演出。それぞれに「腰掛ける」「もたれ掛かる」「荷物を置く」などの機能を持たせつつ、思い思いの利用ができるようにしており、不特定多数が往来する空間にほっと一息つける場所となるよう目指した。

